

高度先進麻酔科学特論

Advanced Course of Highly Advanced Anesthesiology

キーワード

- ① オレキシンの作用機序
- ② 睡眠物質の解明
- ③ 呼吸中枢の制御
- ④ 麻酔薬の作用機序
- ⑤ 三叉神経痛の興奮伝達回路

授業概要

オレキシンは、麻酔科分野のみならず医学全般の中で、現在最も注目されている研究テーマである。その作用機序の解明は、「なぜ眠るのか」という人類の生理学の根本の解明に繋がるからである。本講義は、オレキシンの呼吸中枢に対する作用機序・オレキシンの麻酔薬における作用機序に関する研究方法について基礎知識や手技を修得する。また三叉神経痛や歯科における慢性疼痛疾患経路の解明を目標に三叉神経の興奮伝達部位の解析方法を修得する。

授業科目の学修目標

オレキシンは、新しい睡眠薬にも応用されているように、人類の睡眠に関する根本を解明する手がかりになる可能性を秘めている物質である。オレキシンの呼吸中枢への作用機序、オレキシンの睡眠への作用機序解明への実験方法を修得し、更に自ら新しい視点から高レベルの研究を行なえる力を身につける。

授業計画

- | | | |
|--------------------------------------|------|------|
| ① オレキシンの呼吸中枢への作用機序の実験方法について理解を深める。 | 10コマ | 有坂博史 |
| ② オレキシンの睡眠への作用機序の実験方法について理解を深める。 | 10コマ | 有坂博史 |
| ③ 歯科の歯痛に関連する三叉神経通の伝達部位の解明について理解を深める。 | 10コマ | 有坂博史 |

教科書および参考書

無し

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

特別な予備知識は必要ありません。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① オレキシンの呼吸中枢への作用機序の実験方法について理解し説明ができる。
- ② オレキシンの睡眠への作用機序の実験方法について理解し説明ができる。
- ③ 三叉神経通の伝達部位の解明について理解し説明ができる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポート フォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	0%	10%	0%	90%	0%

評価の要点

- ・口頭試問は、授業終了後毎回行い知識の理解度を判定する。 3%×30回=90%
- ・その他 学会発表を行う。 10%×1回=10%

理想的な達成レベルの目安

理想的な達成レベルは80%以上である。